

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	各種災害に対して、地域の方との連携や協力関係をさらに維持強化する必要がある。	地域との連携について話し合い、連絡体制や協力関係を維持構築していく。	防災・災害対策について話し合いの機会を持ち、災害訓練などの行事等に共同して参加するなど連携の機会を持つ	12ヶ月
2	35	災害時の食料や水などの備蓄品の数量などの見直しが進んでいない。	食料や水などの災害時備蓄品を見直しを行う。	食料や水などの備蓄品について必要品目の再検討を行う。数量については、3日程度から1週間程度へ見直しを行う。	12ヶ月
3	9	利用者やご家族にグループホームでの生活やサービスを満足していただけるよう、利用者本人の生活状況に応じ、生活についての意向やニーズの把握に努める必要がある。	利用者やご家族にグループホームでの生活やサービスを満足していただけるよう、入居者の生活状況に応じ本人や家族の意向やニーズの把握に努める。	ケアチェックのやり方や本人やご家族への意向の調査、ニーズの把握のあり方を検討改善していく。	6ヶ月
4	26	利用者やご家族にグループホームでの生活やサービスを満足していただけるよう、チームでつくる介護計画とモニタリングのあり方を見直す必要がある。	利用者やご家族にグループホームでの生活やサービスを満足していただけるよう、チームでつくる介護計画とモニタリングのあり方を見直す。	ケア会議、ユニット会議、日々の申し送りなどの話し合いの場で介護計画やモニタリングへの議論を深め、介護計画やモニタリングのあり方を改善していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。